

(別紙)

大豆多収研究発表会

— 導入事例で納得！大豆安定多収を実現する農研機構開発の多収新品種と新技術 — 開催要領

- ・開催日時：2026年2月25日（水）13:00～16:40（開場12:30）
- ・開催場所：レゾラホール
福岡市中央区天神2丁目5-55 5階
- ・定員：会場150名、オンライン500名
- ・共催：農研機構九州沖縄農業研究センター
農林水産省 九州農政局
全国農業改良普及支援協会
- ・参考範囲
農業生産者、農業関係団体、行政機関、試験研究機関、民間企業、大学等教育機関、大豆栽培に興味のある方
- ・問い合わせ先（運営担当者）
農研機構九州沖縄農業研究センター暖地水田輪作研究領域長 大段秀記
〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉496 電話：0942-52-3101（代表）
Email: kyusu_daizu_MT@ml.affrc.go.jp
- ・議事次第
 - 1. 開会挨拶 澄谷美紀（農研機構九州沖縄農業研究センター 所長） (敬称略)
13:00～13:10
 - 2. 講演
 - ・九州地域の大豆をめぐる事情 牧枝竜二（農林水産省九州農政局生産部生産振興課 課長補佐）
13:10～13:30
 - 3. 新品種、新技術の紹介と導入事例の紹介
 - ・大豆多収新品種「そらみのり」導入による収量アップ事例 大木信彦（農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域
作物育種グループ 上級研究員）
野見山綾介（農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域
水田高度利用グループ 主任研究員）
徳永浩二（ネットワーク大津株式会社 代表取締役社長）
13:30～14:30
 - ・高能率と排水性を両立する新播種技術「ディスク式高速一工程播種」 松尾直樹（農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域
スマート水田輪作グループ 上級研究員）
14:30～15:10

永廣徹朗（農事組合法人熊本すぎかみ農場）

休憩 15:10～15:30 (20分)

・大豆の增收に向けた土壤水分状態の予測システムの開発と乾湿害回避事例

15:30～16:10

原貴洋（農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域

水田高度利用グループ グループ長)

貝田晴義（農事組合法人富久 理事）

4. 新品種、新技術導入による経営改善効果

16:10～16:30

岡崎泰裕（農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域

水田高度利用グループ 上級研究員）

5. 閉会挨拶

16:30～16:40

本田光広（農林水産省九州農政局 次長）